

2019. 2.10 日

9:15~12:30

草津市立市民交流プラザ  
大会議室

滋賀県草津市野路一丁目15-5 フェリエ南草津5F

情報提供 新規抗精神病薬『レキサルティ』の  
最近の知見について  
大塚製薬(株)

特別講演 9:30~12:30

座長 長浜赤十字病院  
薬剤師 酒井 要 先生

演題

「うつ病のガイドラインとUPDATE

および睡眠障害へのアプローチを含めて」

演者 一般社団法人 水口病院  
薬局長 大久保 雅則 先生  
(精神科専門薬剤師)

知識の整理と理解の為に

会費:薬剤師:500円、日精看会員・看護師・その他コメディカル・学生:無料  
精神科専門薬剤師・薬物療法認定薬剤師 1.5単位(180min)  
日病薬病院薬学認定薬剤師制度 2.0単位(V-2 予定)

当日は、ご参加頂いた確認の為、施設名、氏名のご記帳をお願い申し上げます。  
ご提供頂きました個人情報、シンポジウムのご出席者の確認と連絡のために使用します。個人情報は、主催関係者及び業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理いたします。

共催 : 滋賀県病院薬剤師会 大塚製薬株式会社  
後援 : 日本精神科看護協会 滋賀県支部

# 要旨

みなさんは治療選択肢の1つである  
抗うつ薬は年齢層の違いにて薬剤反応性が異なること  
自殺企図においてどのような薬剤が効果を示すか  
妊娠期に選択すべき薬剤についてご存知でしょうか？  
うつ病と抑うつ症状ってどう違うのでしょうか？

本講演ではうつ病の薬物治療に関する基本的な考え方を初学者～中級者のコメディカルに向けて、日本・カナダのガイドラインを軸に、薬剤反応性と離脱率に関するメタ解析の結果や自殺予防における薬物治療の有効性など、最新のエビデンスと共に紹介します。

うつ病の診断件数は近年急速に増加しているものの、睡眠障害、がんなどの身体疾患、妊娠との関連性、他の精神疾患、薬剤性による抑うつ症状との関連性については、改めて留意されるべき問題です。

生物学的なうつ病の病態仮説はどの程度まで明らかとなっているのか、睡眠障害の併存率の高さとベンゾジアゼピン系睡眠薬の効果など、

うつ病治療に関する幅広いテーマを本講演では取り扱い、あらゆる職種と診療科におけるスタッフが備えるべき基礎知識のUPDATEを図ることを目的とします。

**\* 精神科専門、薬物療法認定薬剤師の単位取得希望者は、研究会終了後に 成果報告書を提出して頂きます。**